

平成29年度 胆江地域県立病院運営協議会

県立江刺病院の 現状と今後の課題

—胆江圏域の地域医療構想を踏まえて—

平成29年 8月 4日

県立江刺病院

川村 秀司

内 容

- 当院の平成28年度事業実績
- 江刺病院の現状
- これまでの経緯、取り組み
- 今後の取り組み
- 高齢社会に向けて(地域医療構想を踏まえて)

岩手県立江刺病院 平成28年度 (事業実績)

【H29.6.1現在】

○病床数	145床	一般130・結核15
○標榜診療科	14科	
○職員数	163名	うち正規職員117名
・常勤医師数	6名	
・看護職員数	99名	うち正規職員78名

- 1日平均外来 現在の病院は昭和55年に現在地に移転新築
〔うち、急患〕 今年で 築37年目
- 1日平均入院 〔うち、急患〕
- 平均在院日数 **17.9日**
- 病床利用率(一般) **58.6%**
- 救急患者数 **1,912人**
〔1日平均で5.2人〕
- 救急車受入件数 **352台**
〔1日平均で1.0台〕
- 救急患者の措置状況
入院 **31.8%**、帰宅 **64.7%**
- 手術件数 **245件**
〔うち、全身麻酔手術件数 62件〕



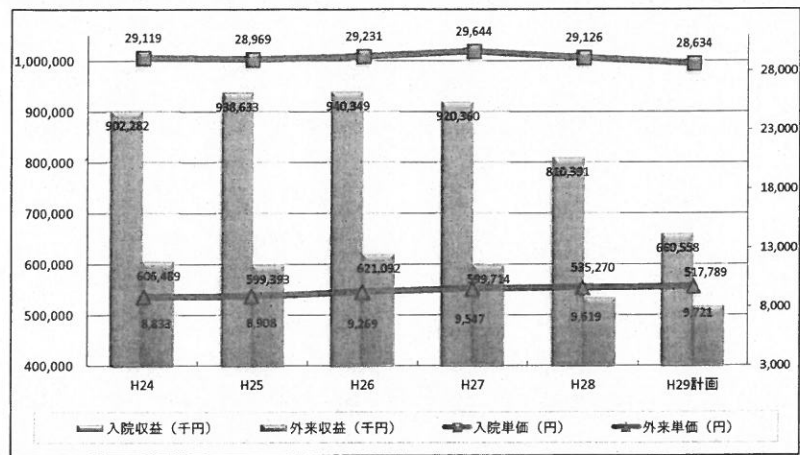
- 日本医療機能評価機構認定病院 (Ver.6.0)
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本消化器病学会認定施設

診療科別の診療応援の状況

診療科	診療日	応援医療機関
消化器科	毎週：月～木曜日	岩手医科大学附属病院
循環器科	毎週：木曜日、月：1回金～土曜日	岩手医大、東北大学
*小児科	毎週：火・金曜日の午後	北上済生会病院
外科	毎週：月・水～木曜日、月2・4火曜日	岩手医大、中部病院、紫波診療センター
*整形外科	毎週：月曜日	岩手医科大学附属病院
*脳神経外科	毎週：木曜日	岩手医科大学附属病院
*皮膚科	毎週：火・金曜日	岩手医科大学附属病院
泌尿器科	毎週：木・土曜日	岩手医科大学附属病院
*産婦人科	毎週：木曜日	岩手医科大学附属病院
*眼科	毎週：火～水曜日	岩手医科大学附属病院
宿直 日当直	毎週：月～金曜日 毎月：第3土曜日	岩手医大・金ヶ崎診療所・養山病院 県立胆沢病院

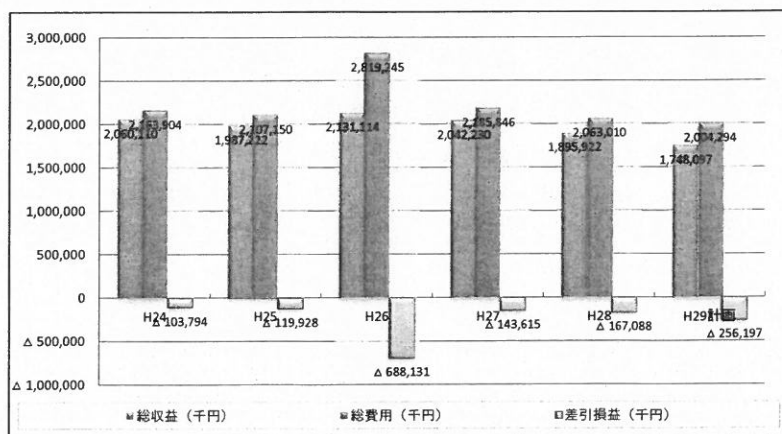
平成28年度 医療法の医師必要数と充足率(平成29年3月) *H29必要数 9,181.25人(充足率 133.4%)
必要数 10,987.50人⇒配置数13,350人(常勤 6人、非常勤 6,350人) : 充足率 122.0%

入院・外来収益と診療単価



【税込】	H24	H25	H26	H27	H28	H29計画
入院収益(千円)	902,282	938,633	940,349	920,360	810,391	660,558
外来収益(千円)	606,489	599,393	621,092	599,714	535,270	517,789
入院単価(円)	29,119	28,969	29,231	29,644	29,126	28,634
外来単価(円)	8,833	8,908	9,269	9,547	9,619	9,721

収支状況



	H24	H25	H26	H27	H28	H29計画
総収益(千円)	2,060,110	1,987,222	2,131,114	2,042,230	1,895,922	1,748,097
総費用(千円)	2,163,904	2,107,150	2,819,245	2,185,846	2,063,010	2,004,294
差引損益(千円)	△ 103,794	△ 119,928	△ 688,131	△ 143,615	△ 167,088	△ 256,197

これまでの経緯

平成13年 3月 病院全面改修工事竣工(H11. 7月～H13. 3月:1年 9ヶ月)
 平成18年 3月 ISO14001認証登録
 5月 許可病床数 150床に変更(一般 135床、結核 15床)
 平成20年 1月 日本医療機能評価機構による評価認定(Ver. 5.0)
 平成23年 3月 東日本大震災
 許可病床数 145床に変更(一般 130床、結核 15床)
 平成24年 7月 病院機能評価 (Ver. 6.0)受審(更新)
 11月 耐震工事完了(H24. 1月～11月:11ヶ月)
 平成25年 1月 糖尿病外来 稼働(1回/週)
 日本医療機能評価機構による評価認定(Ver. 6.0)
 5月 糖尿病教室 稼働(1回/月)

 平成26年 8月 NST歯科回診 稼働
 10月 市民健康公開講座 稼働
 11月 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会 設立
 平成27年 6月 地域医療福祉連携室 稼働



市民健康公開講座

開催回数 開催日	参加者	講座議題	講 師
第1回 平成26年10月 8日	125名	①地域に根ざした江刺病院のあり方 ②糖尿病の予防と治療 ③江刺病院看護の活動状況	江刺病院 院長 川村 秀司 江刺病院 消化器科医長 石井 基嗣 江刺病院 総看護師長 廣田 勝
第2回 平成27年 6月17日	80名	①今、そしてこれからの奥州は… ーわれわれが今すべきことー ②生活習慣病予防について オープニング～知っておきたいこと～ ③食事のこと ～3つのポイント～ ④運動のこと ～座ってできる運動を紹介します～	江刺病院 院長 川村 秀司 江刺病院 消化器科医長 石井 基嗣 江刺病院 栄養管理室次長 星野 香代子 江刺病院 主任理学療法士 袖野 早苗
第3回 平成27年11月27日	182名	①認知症の理解と対応 ②認知症患者とのかかわり方 ③高齢化社会に向けて自ら考えて おくべきこと ー覚悟はできていますか？ー	奥州市 さくらクリニック 院長 阿部 佐倉 江刺病院 看護師 久保田 君恵 江刺病院 院長 川村 秀司

開催回数 開催日	参加者	講座演題	講 師
第4回 平成28年 2月 5日	225名	①上手な医療機関のかかり方 ②超高齢化社会と在宅医療 ～望んだ場所で最期まで過ごすために～ ③高齢化社会に立ち向かうために 一準備はできていますか？～ ④江刺連携懇話会の活動報告	岩手県奥州保健所 北上市 ホームケアクリニックえん 院長 千葉 恭一 江刺病院 院長 川村 秀司 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会代表世話人
第5回 平成28年 6月21日	90名	①医療ソーシャルワーカーの役割 ②人生の最終段階における意思決定 支援 ～地域版ANHガイドライン 「HONSE」「HOTARU」を用いた 意思決定支援の実践～	胆沢病院 医療社会事業士 北谷 真 二戸病院 副院長 高橋 浩
第6回 平成28年11月28日	75名	①お薬の正しい飲み方 ②これからの薬局活用術	江刺病院 主任薬剤師 菅藤 妙子 奥州薬剤師会 副会長 中目 祐幸

開催回数 開催日	参加者	講座演題	講 師
第7回 平成29年 3月 4日	131名	①検査数値の見方・考え方 ②健康診断と生活習慣病について	江刺病院 主査臨床検査技師 熊谷 公代 胆沢病院 参与 小野寺幸男
第8回 平成29年 7月22日	66名	①頻尿・尿失禁について ②尿失禁手術について ③尿失禁と皮膚ケアについて	江刺病院 副院長 佐々木 英夫 胆沢病院 医療研修科長 兼 泌尿器科医長 米田 真也 胆沢病院 皮膚・排泄ケア認定 看護師 菊池 勝子

平成27年度 第4回
市民健康公開講座

日時：平成28年 2月 5日（金）
18時～19時30分
場所：江刺総合支所 1階多目的ホール

講演1 上手な医療機関のかかり方

（講師：岩手県奥州保健所）

講演2 超高齢化社会と在宅医療

～望んだ場所で最後まで過ごすために～

（講師：北上市ホームケアクリニックえん
院長 千葉 恭一 先生）

講演3 高齢化社会に立ち向かうために

～準備はできていますか？～

（講師：江刺病院 院長 川村 秀司）

講演4 江刺連携懇話会の活動報告

（講師：懇話会代表世話人）

参加者 225名



平成26年11月28日（設立日）
第1回 江刺連携懇話会研修会

・ 岩手県立宮古病院

講師：医療社会事業士 湯沢 克 氏

「地域のお職種連携を目指して」と
題して講演。

・ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会
開催の企画提案。

・ 研修会参加者 104名

以降、今年の 5月24日まで 計11回 開催
延べ 1,099名が参加

次回 8月

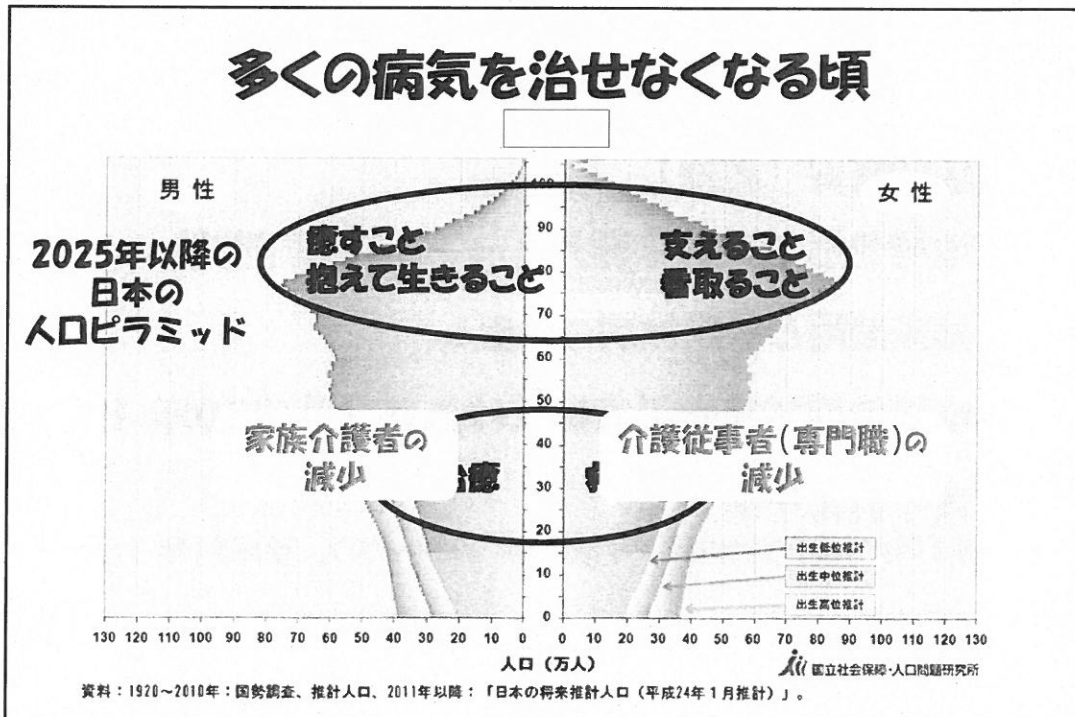
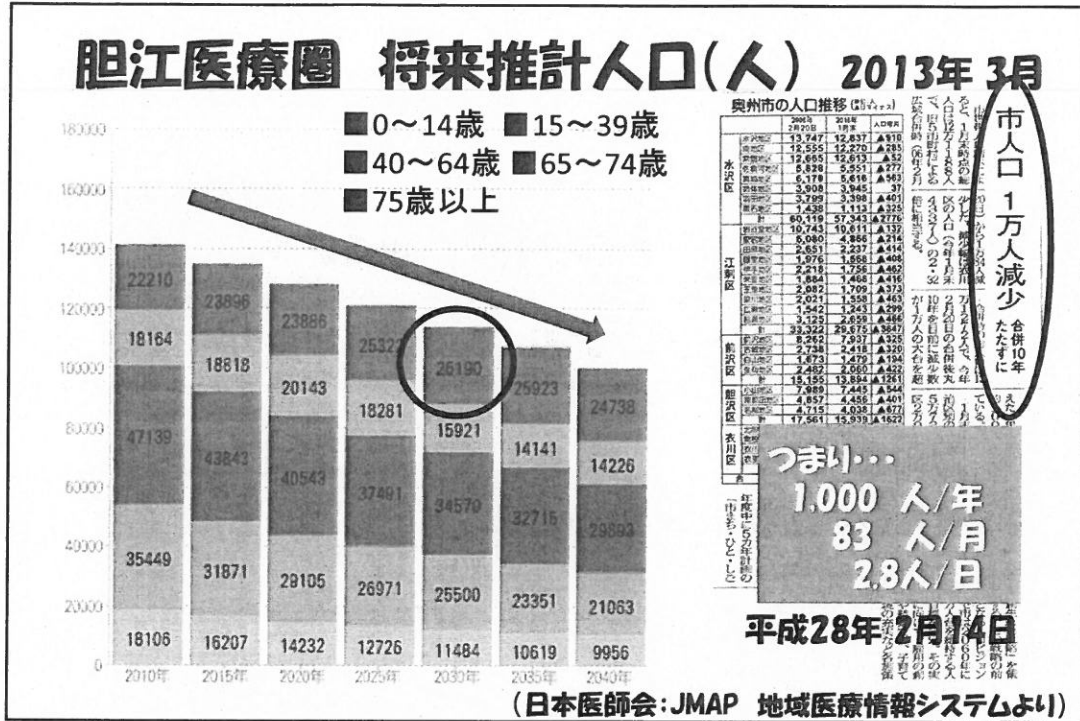


江刺病院の最近の取り組み

1. 訪問薬剤管理指導（在宅での服薬指導）
（平成26年 7月～）
2. 退院調整看護師の退院支援訪問（退院前後）
（平成27年 9月～）
3. 院内売店の再開（約 2年ぶり）
（平成28年 4月～）
4. 病棟薬剤業務実施加算 1
（平成28年 9月～）
5. 認知症ケア加算 2
（平成28年11月～）
6. 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
（平成27年 4月～）
7. 病院機能評価更新受審（3erG Ver.1-1）
（平成29年 7月 5・6日）
8. 給食委託事業
（平成29年10月～）

今後の取り組み

1. 医師確保（継続）
2. 地域包括ケア病床導入（→ 一部病床削減）
3. 病床運用と看護体制の見直し
4. 水沢看護学苑看護実習受け入れ（平成30年 1月～）
5. 電子カルテ導入
（平成29年 7月デモ機設置、平成30年 4月キックオフ、平成31年 1月稼働）
6. 病院改築工事（コンパクト構想）？
計画は10年、20年先を考えたうえで。



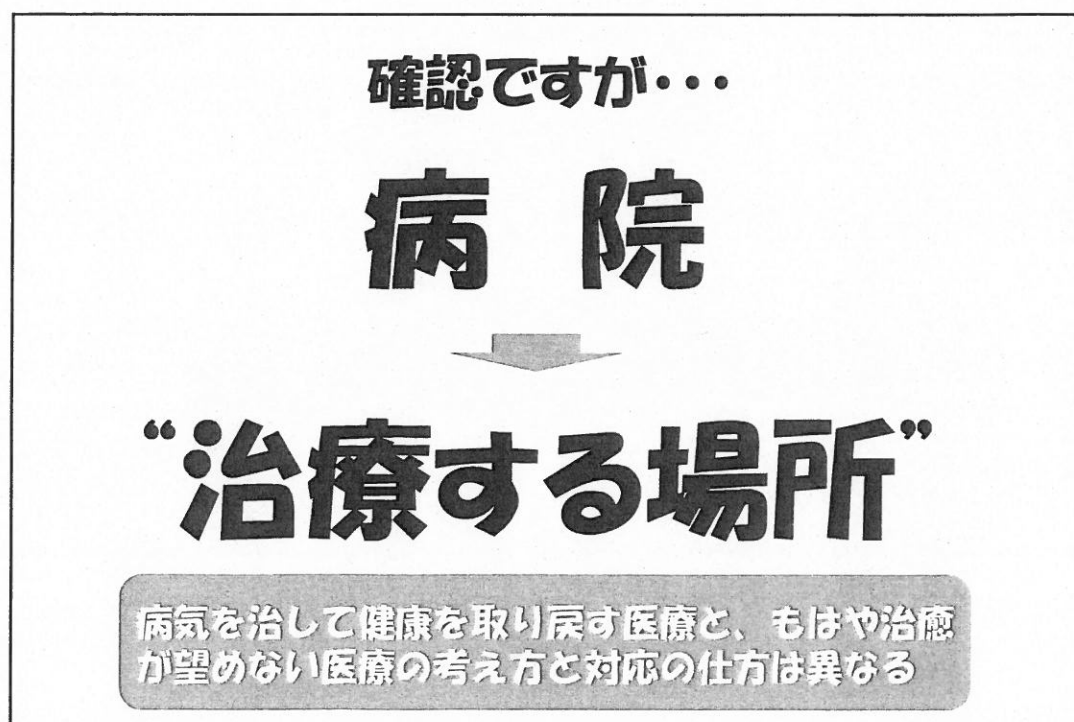
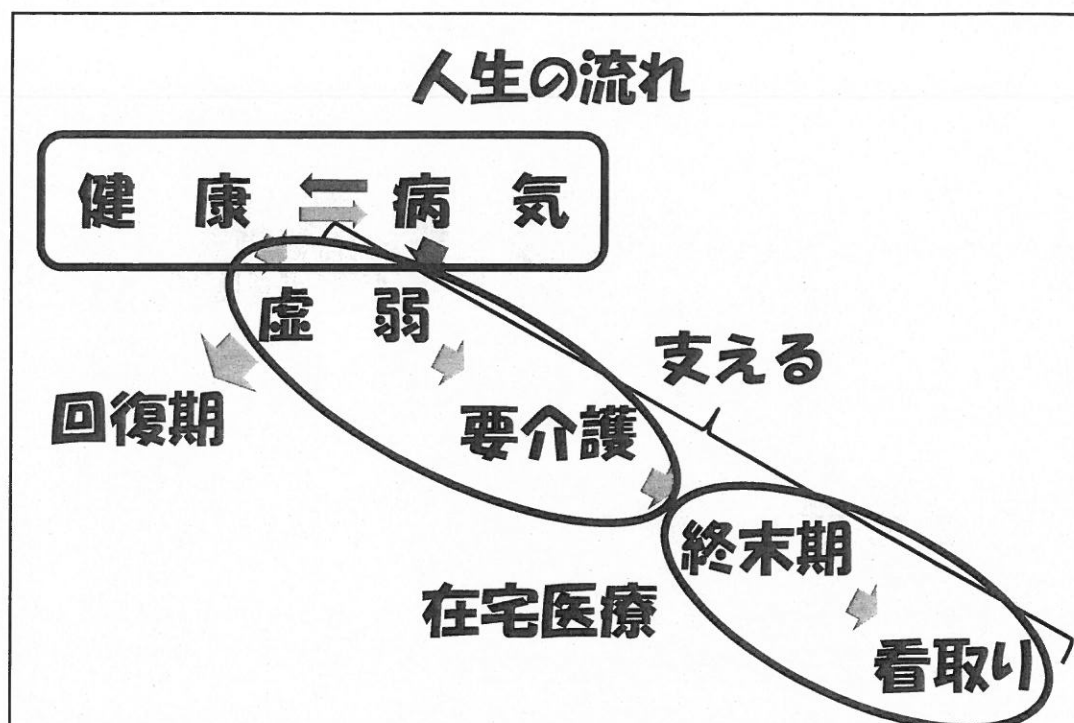
“地域医療構想”

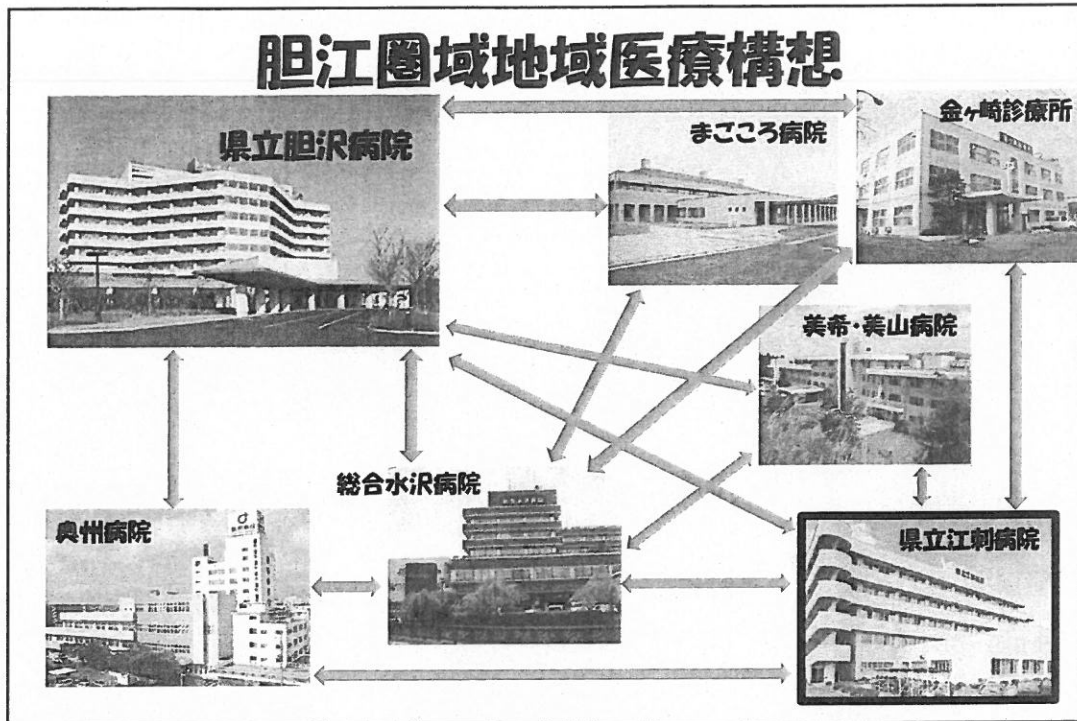
奥州市では・・・

急性期	多	回復期	少
慢性期	多		

高齢社会に向けて・・・

- ①人口減少(超高齢化・少子化)
- ②疾病構造の変化
 - 慢性疾患の増加 骨折・肺炎・臓器不全
 - 脳卒中(2025年には 2人に 1人、1割が死亡、
1/3が障害者)
- ③認知症の増加
- ④生活場所
- ⑤多死社会 → 看取りの場所





江刺病院の位置づけ

— 地域に密着した病院 — 高齢社会に向けて・・・

急性期

≦

(回復期)・慢性期

終末期(緩和)

在宅ケア(訪問診療・往診)

胆沢病院、金ヶ崎診療所の後方支援

訪問診療

啓発の
必要性



- ・毎週金曜日(変則あり)
- ・24時間 365日
- ・緊急時の往診、看取り、必要に応じレスパイト入院
- ・対 象: がん終末期、褥瘡、神経難病、老衰、等
- ・信 念: 人生の最期まで見届ける

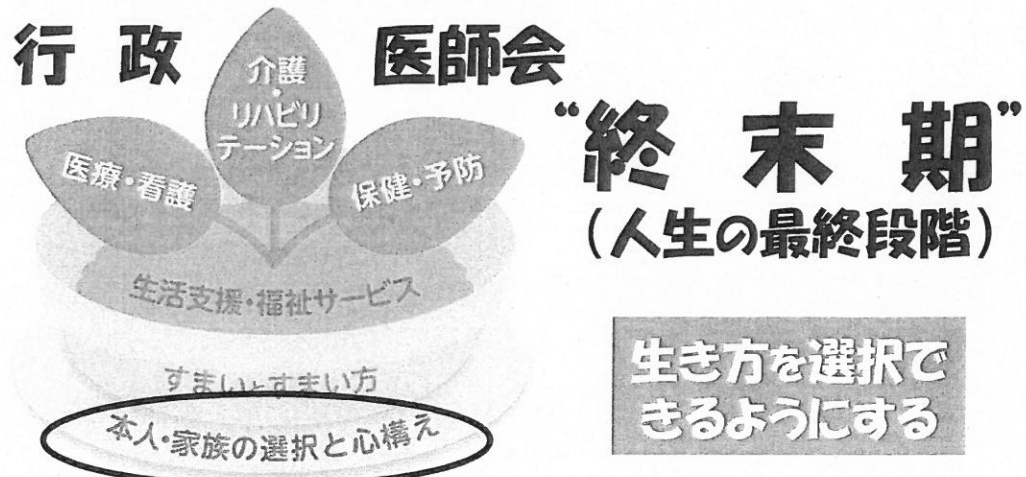
社会貢献



職員と住民を守りたい！！

国が目指す地域包括ケアシステム

一人ひとりの生き方を支えるために…



地域包括ケア研究会報告書(平成25年3月)、厚生労働省ホームページ

